CONTENTS 大阪の こんなことやってます!私たちの施設から♪ 写真でふりかえる コロナ禍での 天王寺区 東成区 市社協 コロナでどうする?居場所・サロン活動 「新しい生活様式 「認知症マフを一緒に作りませんか?」 未来へつなぐSHARE -ガイドブックから考えてみよう― CT活用のあゆみ bookJ発行-2021.6 The social welfare in OSAKA 4 8

^{挂金福} 大阪市社会福祉協議会

http://www.osaka-sishakyo.jp

食事や遊びに ベランダを活用しました DAT SHARE book

人々の暮らしぶりがリアルに伝わる「がんばりを載せたい」

だったから、そうでなければ

ようだが、不便も混乱もその ならないと主張する人もいる

人が引き受ければいいのだか

なっている。

古来夫婦同姓

姓を許すかどうかが話題に

イツ人▼今、 ついている。

東成区

月に「新しい生活様式 未来へ を発行しました。 つなぐSHARE 東成区社協では、令和3年3

られたコロナ禍での生活の工夫 区内在住・在勤の方から寄せ b o o k

をテーマにしたマンガや地域ご ジで紹介。、新しい生活様式、 を、区内11地域別に見開き2ペ 子になりました。(2面 全36ページの読み応えのある冊 との耳より情報も掲載し、カラー へ続く)

ほえましい光景に映った▼私 いが、私の目には何となくほ のカメラ操作は危険極まりな が多い日本での、歩きながら 送るようだ。道が狭く交通量 を、祖国にいる祖父母にでも どもが学校に通いだしたの い▼外国から日本に来て、 ているのだが、日本語ではな 子どもの様子を言葉で説明し の前を歩いている。

かけている女性が私

ビデオカメラで追い 通学する子どもを

れが新しい文化になる。 論もなくなるに違いない。 番も多様になって、そんな議 うになれば、別姓も姓名の順 外国人が当たり前に暮らすよ ならないという考え方が怖い みんな同じでなければ ら、他人がどうこう言うべき

ではないように思う▼それよ

ろにさらにカタカナの名字が の先生は、日本語の姓名の後 た。4年生になった孫の担任 フランス人が引っ越してき

パートナーはド 日本では夫婦別

の町は今ちょっとした外国人

ム。日本女性と結婚した

「新しい生活様式 未来へつなぐSHARE book」

東成区

エピソードは100件超え

ページと今年3月に発行した冊 うことが目的です。エピソード れがちなつながりを感じてもら 地域の人たちに、コロナ禍で薄 ページ上でシェアすることで、 タートしました。新しい生活様 2年6月、「在宅生活応援!新 に掲載されています。 つなぐSHARE book 子版「新しい生活様式~未来へ は100件以上集まり、ホーム から募り、エピソードをホーム 式を踏まえた知恵や工夫を区民 HAREプロジェクト」をス しい生活様式 知恵と工夫のS 入浴サービス株式会社は、令和 テーション連絡会 (リハ連)、 きっかけは、昨年4月、ケア 東成区社協と東成区リハビリ

生活支援コー ーディネー 9-島岡繁希さん

がんばる姿をシェアしたい

マネジャーからリハ連の代表・

知恵と工夫をシェアして、 ナ禍でがんばっている人たちの られました。島岡さんは「コロ どたくさんのエピソードが寄せ の前で笑顔をつくっている」な のスーパーに行っている」「鏡 を書いてもらうと「ひとつ遠く 返信に、今取り組んでいること 認のための往復はがきを送付。 なっている間、参加者へ安否確 区社協では、介護予防教室事 (いきいき教室) が中止と 地域

が減って運動不足の高齢者に何中原英雄さんへの「外出の機会 ジェクトが動き始めました。 なう3人がタッグを組み、 す。日頃から事業をともにおこ ど、地域貢献に思いがある人で 浩一さんでした。社協や地域の たのが、入浴サービス㈱の吉見 いか」と悩みます。そこで頼っ 後、「他に何かできることはな データを配信し活用を勧めた さんはケアマネ連絡会に冊子 繁希さんに相談しました。島岡 活支援コーディネーターの島岡 作した経過がある、区社協・生 宅生活応援知恵袋』を協働で制 事や運動の工夫をまとめた『在 た。中原さんは、平成31年に家 かできないか」という相談でし イベントに足湯を提供するな プロ



入浴サービス株式会社 吉見浩一さん

る入浴剤を提供しています。 して、自宅で温泉気分を味わえ ドを寄せた人へのプレゼントと ました」。ちなみに、エピソー や支え合いも生むものだと思い 共有することが、地域での共感 面でつながりにくい環境もあっ 見さんは、こう話します。 様式」に変更。意見を出した吉 出自粛」でなく、「新しい生活 が、対象を全年代に広げ、「外 プロジェクトにつながりました。 しい生活様式〟を〝全世代〟 長引くコロナ禍を見据えて〝新 AREプロジェクト」でした を元気にできたら」と考え、この 「外出自粛の知恵と工夫のSH 『つながりづくり』が軸。 高齢者対象で名称も 対 で

> きい」と話します。 難しかった。しかし、その身近 創作などについてのコメントは ていることを伝えられたのは大 なところからリハビリは始まっ けました。「運動以外の遊びや

アイディアをまとめ、 いきました。 島岡さんは、各自の専門性や 形にして

つながりを生むのは **/**共感/

想を聞きました。 取組みを通じての気づきや感

かり、 た」と吉見さん。 強みを引き出してもらいまし が軽くなったなどの声を聞きま ワーしか使わない人が湯船につ した。お風呂の可能性を広げ、 「入浴剤をきっかけに、シャ 血行がよくなり、 気持ち

量の確保にがんばってきただけ したがみなさんのおかげでアク に、途絶えたときはショックで 中原さんは「外出を勧め、運動

一方、中原さんは、エピソー

業療法士、言語聴覚士に声をか ため、リハ連の理学療法士、作 バイスや応援コメントを集める ドに対する専門的な視点のアド

東成区リハビリテーション連絡会 代表 中原英雄さん

を込めます。

「次もつくる

<u>න</u>

の声に第

二弾も検討して

11

.ます。

思って、電話し なれば」と願い 出すきっかけに つながりを思い けに行ったり、 たり、冊子を届 てへんかなと 近所の人が困 かけに、家族 し、これをきっ て欲しいです をええなと思っ 「地域のこと

「在宅生活応援!新しい生活様式 知恵と工夫の SHAREプロジェクト」はこちらから

http://www.higashinarikushakyo.jp/fukushi/life_support/

ションを起こせました。コロ たことも自信になりました」。 禍に自主トレの必要性が伝わ

れだけで、安心した表情になっ な一人ひとりの生活の中にある の幸せというのは、 てくれました。 わ!」とエピソードに共感。 返ってきました。冊子を開いて とにそうやね~」という声が た」と区民に手渡すと、 向きになれるように作りまし さんが、完成した冊子版を「前 と改めて気づきました」。 て、近所で話す人がいて、そん 17 「これ、 範囲を見ようとしますが、 島岡さんは、「地域という広 うちでもやってる 家族が 「ほん

2021年(令和3年)6月

コロナ禍でも自宅でできるボランティア 認知症マフを一緒に作りませんか?.

に「認知症マフづくりの場」を 天王寺区社協では、4月17日

つとして「認知症マフを作って

安心感が得られると言われてい れており、認知症の人が触ると にボタンやリボンが縫い付けら に編まれたニット小物で、内側 〝認知症マフ〟とは、円筒状

ボランティア活動として、 が増えている中、 コロナ禍で自宅で過ごす時間 認知症の人への支援のひと 自宅でできる

> いきました。 フが、少しずつ編み上げられて かな雰囲気の中でカラフルなマ こなっているボランティア団体 を支えるボランティア活動をお 区内で、認知症の人やその家族 かけに、9人が参加しました。 みませんか」との区社協の呼び し、会の活動を紹介。認知症の 人への理解を深めながら、和や 「ロバの会」の皆さんも参加

「マフの柄やマフに付けるも

うことで、マフ活動を支えてい 入って使ってもらえるのではな 好きなものにすれば、より気に きたい」と話しました。 作る活動だけではなく、必要な 田美津子さんは「今後はマフを さん。認知症施策推進担当の野 知症地域支援推進員の鈴木美鈴 のは、使う方にまつわるものや 人に届く仕組みづくりをおこな いかと思います」と区社協・認

のは苦手だけど、人のために何 「グループに入って活動する

区社協に寄せられたカラフルな手編みの認知症マフ 週間後に編み上げ あったAさん。2 動にためらいが でボランティア活 そう」と、これま だったらできる ました。 かしたい、 て届けてください し、関わっていけ マフ

マフに付けるもの…編み手の個性も光ります

を進めていきま 動として、これか のボランティア活 マフを届ける活動 らもマフづくりや る、認知症の人へ ロナ禍でもでき

毛糸の色や編み柄、

風をよむ

啓発機会となるこ -ヤングケアラー実態調査報告書から-大阪市立大学大学院 生活科学研究科 ズ調査の意義

清水 由香

とにより、子ども自身がやり されている家事や家族の世話 上げた。ヤングケアラーと 援に向けた福祉・介護・医療 合同で「ヤングケアラーの支 ないと思われる子ども」11の ども自身の権利が守られてい たいことをできない、 などを日常的に行っているこ ーム」を令和3年3月に立ち ・教育の連携プロジェクトチ 厚生労働省と文部科学省が 「本来大人がやると想定 など子

年生で5・7%、 となった。 生の8割がヤングケアラーの 今回の調査から中学生、高校 関する報道が増えているが、 2年の間、 された2)。さらに、ここ1~ 2年生で4・1%が世話をし う認知度の ことを聞いたことが無いとい ている家族がいることが報告 生徒対象の調査から、 ことである。最近、全国初の ヤングケアラーに 低さが明らか 全日制高校 中学2

て大きい

ニーズ調査を行う意義は極 の状況に応じたローカルな 把握できてはいるが、各地域

割をも担うことが期待され

る。そのため、

全国の実態を

区社協では、

コ

1) 2) 三菱 UFJ リサーチ&コンサル 2021年3月 る調査研究 報告書」、 業「ヤングケアラーの実態に関す ども・子育て支援推進調査研究事 ティング株式会社・政策研究事業 本部、厚生労働省 令和2年度 子

当事者に支援情報を届ける役 ションをつなぎ、啓発機会や くいなど、さまざまな状況か 0) 調査から示された。 る契機になったことが、 者らも初めてニーズを自覚す と、またヤングケアラー当事 ラーを知る機会となったこ より、中高生らがヤングケア れている。調査の回答機会に ら、ニーズ発見が難しいとさ しく子ども自ら支援を求めに しにくいこと、支援環境が乏 が回答者とのコミュニケー つまり、ニーズ調査そのも

ども自身が支援ニーズを自覚 題とされることや、 ヤングケアラーは家庭の問 家族や子

す。

社 協 市

ブッ クから考えてみよう 活

動

ーナでどうする?

広報誌「大阪の社会福祉. 一では、 平成

第6弾として、 [と協 働 0 た め 0) 市 地 社協が発行した 域福祉 ロガイド 年

「コロナでどうす

る?

居場所・

サロ

者の皆さん を書き込んでみてください 普段通りに活動ができない を用意しました (5面)。 を紹介します へ、事例と連動した 日 ぜ [々が 「6つの ひ今の た続く読 問

したが、 ろ」というコーナーで17の活動を掲 大きな打撃を受けました。 多様な居場所・ 度~令和元年度にかけて 今回紹介するガイドブックでは、 新型コロナウイル サ ロン活動を発信してきま ス感染症 「居場所 市社: 元による 載し、 がろい

で令和2年度に発行した冊子 でも 15, つながる方 「コロナの

大阪市・区社会福祉協議会 一覧 りな 年 4 います。 態宣 断の経過などを 階を時系列 有できるよう6 即したヒントを共 月 1 令和2年 事例を紹 ・視点を踏まえな 再 事 に示した手順 話し合 「平常時」 言 П が 開 例 参 という3段 より実践に [目の緊急事 5 ペ 5 加 (令和2 月 1 現 者 パでたど 6 月 介し 1 在 ジ Þ 活 0) 思 で 動 5

東住吉区

ガイドブック表紙(左)と事例ページ(右)

ために 事例紹介「その時、どう思った、こう動いた」

コロナ禍での「居場所・サロン活動」の状況 「居場所いろいろ」紹介 コロナの中で「居場所・サロン活動」を継続して展開していく

ホッとサロン「レインボー」 浪 速 区 都島区 [障がいを持つ仲間の会]

[NPO法人真成会]



JIN

▲カフェ形式の活動をテイクアウトに変 更することで新たなつながりも生まれま した。

鶴見区



▲再開の知らせを聞いて、こどもたちは 1週間前から楽しみにしていたそうで す。

区 オンライン版 子育てサロン 港

▲ボランティアの気持ちの変化にも目を

向けて、ていねいに話し合いの場を持ち

[港区主任児童委員連絡協議会]



▲「顔を出さなくても○K」「途中参 加・途中退出も気にせずに」と、不安を 和らげてお迎えします。

ふれあい喫茶

CAFE

ォンライン版 子育てサロン

E8 9

段のサロンの様子

6

・回目の緊急事態宣言時

参画と協働のための 地域福祉ガイドブック

23

まとめ

なかよし食堂

ました。

[東田辺地域活動協議会]

次

とめています。

コロナでどうする?

居場所・サロン活動

〔茨田東地域社会福祉協議会〕



▲「リスクはなくならないけど、減らす ことはできる」…地域と区社協が一緒に 考えました。

安立 親子・高齢者食堂 住之江区

〔安立地区社会福祉協議会〕



▲一度の再開でも、準備・当日・ふりか えりの中で、次への気づきがたくさんあ りました。





さい。「活動を継続的に再開す 仲間たちと話し合ってみてくだ り替えていきましょう。 ガイドブックを手に「今の現実 見えません。それならば、この ションもなく、 になった今、マスクもパーテー ていきましょう。 向けて、心と身体を徐々に温め とで、もう一度走り出せる時に わし続ける、 る・しない」の前に、思いを交 込んでみてください。そして、 どう拓くか」というモードに切 を受け止めて、この先の未来を ことも少なくなり、まだ出口が たら」という言葉が交わされる ロナがなかったら」「元に戻っ 感じるものとなりました。「コ 流する様子は、もはや情緒さえ な活動に取り組むみなさんへの イント」と連動して、さまざま ぜひ、 「問い」を用意しました。 ここでは、6つの事例の コロナ禍での生活が「日常」 今思うことを直接書き 何か動き続けるこ 顔を寄せ合い交 ーポ

ર્ગો	少り① 参加される方の暮らしぶりから、	活動再開の意味・必要度を見極める。
Q.	今、活動の参加者・対象者の暮らしで、気になることは? どんな声を聞いている?	Α.
ポイント2 柔軟に形を変える中での「気づき」「出会い」の広がりを大切にする。		
Q.	活動方法や環境が変わったことで新たな「気づき」や「出会い」は?	A.
ポイント3 ボランティアの意欲にも目を向けて、話し合いやその時できる動きを続ける。		
Q.	あなた自身のモチベーションの変化は? みんなの気持ちを温めるためにできそうなこ と、やってみたいことは?	Α.
ポイント4 一度やってみて、改善点を見つける(継続的な再開を焦らない)。		
Q.	「この方法ならできるかも」「これを取り入れ てみてもいいかも」とひそかに思っているこ とは?	A.
ポイント リスクを減らすための具体策を地域(団体)と区社協で一緒に考える。		
Q.	この間、区社協などの機関に相談したことは?何か協力を得たいこと、相談したいこと、ほしい情報は?	A.
ポイント オンラインならではの"心配り"を込めて、参加を呼びかける。		
Q.	あなたが初めてオンライン会議に参加した時の気持ちは? 未経験の方は、もし誘われたらどんな気持ちになる?	Α.

写 ふりかえる 真 ロナ禍でのICT活用のあゆみ

る」「どうも苦手」「やっぱり対面がいい」…あなたはどんな思いをお持ちですか? 今号では市社協職員の目線からこの一年間をふりかえり、これから動き出すプロジェクトを紹介します。 コロナ禍で、オンライン会議システムをはじめ、ICT活用が一気に身近になりました。「まあまあ使え



活用を手探り市社協・区社協間で

りました。 ば」。そんなねらいもあ 案できるようになれ 協でもオンライン会議に 域・関係団体に活用を提 ないと気づきました。 づくりや進行術も欠かせ 作だけでなく、オンライ 向けの会議で初めて本格 んで、6月の区社協職員 ながら何とか要領をつか 恥ずかしさ、自分が映る 向かって話すことへの気 みることに。パソコンに やTeamsをつないで 務所内で離れてZoom ついて検討を始めまし 会議ができない中、 メージをつかんで、 ンならではの会議の流れ 実施しました。設定や操 ことへの抵抗感を味わい た。まずは職員数人で事 「まずは職員同士でイ 令和2年5月。対面 地

手段として 活動を続ける でい、学び、

本誌で初めてオンライー 本誌で初めてオンライ

まれており、さらなる人

(写真③) を紹介しまして取りあげたのは令和2 (写真①)、マンション単位でのグループ (写真)の活用例、他都市と の距離を超えた交流企画

との可能性を感じまし ける、つながり続けるこ 焦点を当てて、オンライ 同士の話し合いや学びに そのものよりも、担い手 組みからは、日頃の活動 や拠点型オンライン研修 携体制づくり (写真⑥) 端末による区内地域の連 住之江区でのタブレット スマホ講座(写真⑤)、 EB学習会 (写真④) や 組む区社協も見られ、 ンを手段として今動き続 してきました。両区の取 誌でも中央区での地域W に向けて中長期的に取り (写真⑦) などをお届け その後、地域での活用

LINEを活用した見 守り(平野区)(写真 の)など、活動そのもの の)など、活動そのもの いの効果的な活用策も生

市社協・区社協における ICT活用の主な動き

2020.1.30

●WHOが「緊急事態」を宣言

2020.4.7

●大阪に「緊急事態宣言(1度目)」

2020.4.8

●大阪市内の学校園が休校

2020 5 25

●大阪の「緊急事態宣言(1度目)」解除

2020.6.1

●大阪市内の学校園が再開

○都島区社協 大規模マ ンションの有志グルー プのオンライン勉強会 を支援

○市社協 区社協との会 議にはじめてオンライ ンツールを活用

2020.7.12

●大阪モデル「警戒信号(黄色)」点灯

○住之江区社協 タブレ ット端末で区内地域の 連携体制づくり

○中央区社協 「地域 WEB勉強」を開催

○港区社協 オンライン 講演会を開催

○都島区「シニア向け Zoom講習会」を開催

2020.12.3

●大阪モデル「非常事態 (赤色)」点灯

○西成区社協 音楽ボラ ンティアの演奏を施設 へ生配信

○市社協 本誌内で 「Zoomの使い方」記 事を掲載

●大阪に「緊急事態宣言(2度目)」

〇平野区社協 LINE活 用した見守り活動のプ レ実施

○住之江区社協 区内14 地域を拠点にオンライ ン研修会を開催

2021.2.28

●大阪の「緊急事態宣言(2度目)」解除

○中央区社協 を勉強し、ボランティ ア講師になろう!」を 開催

2021.4.25

●大阪に「緊急事態宣言 (3度目)」

2021.5.12

●大阪の「緊急事態宣言(3度目)」延長

2021.6.1~

●大阪の「緊急事態宣言(3度目)」再延長



延 面で」 いこともあります 期 意識するように。 の過程や理 %面では、 オンライン とい -止にせざるを得 どうにな 使 电 開 11 分け が、 催

> 私たち C T

に何

ができるか」

やさな

11

ため

し進

めるもので

は、

対面

[を避け

0)

活用も含め

て、

を

検討

実

践

本誌

様子や空気が汲み取り 意し 面の : 同 害も見えてきまし 士 型コ 関係性が深まり 場とは つつも かけができない、 0) そん ちょ 口 な 違って、 ナの動向に つ 「ここぞと 気づき کے た。

利さ の限 れ を推 これ **」ェクト**」を発足します CTを活用することだ

CT

歌にお

L

С

可

りプ

は てより効果的に活用 け で芽生え、 を いるよう、 地 ながりづく 広 社協では、 域福祉活動 げ てきたI

ながるため な

0) W

でもやる

面 しぞ

ഗ

場

面

深まりと広がり

、が期待さ

に込めた思いを共有する

ことも大切です。

、ます。

楽しみにお待ちくださ

発信していく予定です

「つながりをつく

こんなこと 私たちの施設から 37

社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会 西成障害者会館

西成区における、地域で共に育ち・共に学び・共に生きる活動 ~ 障がいのことを知ってもらいたい、いっしょに歩みたい~

◆親なき後も住み慣れた地域で暮らしてほしい

1993年、西成障害者会館は、障がいのある子どもを育てる保護者の"我が子が親なき後も住み慣れた地域で暮らしてほしい"という強い想いから開設されました。そこで、当館では障がいの種別を問わず、障がい者手帳の有無も問わないで、あらゆる障がいのある人たちの相談によりそい、制度や事業の枠組みにとらわれることなくニーズに応えることを心がけています。

そして、当時からノーマライゼーションの理念に基づき、地域の方々といっしょに「地域で共に育ち、共に学び、共に生きる」活動に取り組んできました。そこで、今回は、これまでの活動を少し紹介させていただきます。

◆障がいのことを知ってもらいたい

地域住民の方々や子どもたち、教育・福祉にかかわる人たちなどを対象に違いを認め、多様性を活かせる地域に向けて①聴覚障がい当事者が講師の手話教室、手話だけで話す手話カフェを運営②多様な障がいの特性や、必要なサポートを理解できる「あいサポーター研修」を開催③行政、関係機関と連携した障がいにかかわる学習会を開催④成年後見人、福祉に興味のある人などの実習生を受け入れ⑤ボッチャ等の障がい者スポーツ体験⑥高校での介護職員初任者研修へ職員派遣

⑦学校等へ障がい当事者、職員による人権講習、など 関係機関と連携して取り組んでいます。

◆これからも、いっしょに歩みたい

現在、障がいのある人たちの家族を対象にした障がい者家族会、障がい児保護者会へ積極的に参加しています。当館から障がいにかかわる情報提供をさせていただくとともに、当事者家族の声を聞かせていただき、地域福祉の充実を図っています。

最後に、当館は、西成区障がい者基幹相談支援センターを併設して、障がいを理由とする差別に関する相談窓口を担っています。これからも、地域で共に育ち・共に学び・共に生きる活動を関係機関の方々と協働して取り組み、「差別のない、福祉と人権のまちづくり」の一翼を担っていきたいと考えています。今後

ともよろしく お願いいたし ます。

住所 〒557-0025 大阪市西成区長橋3-2-27 TEL 6562-5800 FAX 6562-6677



発行、 絶えることなく続いてい ねてきた実践とその歴史は、 勢の変化の中、 実際技法の普及のほか、 などを、 くの参考資料やパンフレ 会福祉協議会の運営』 、変化しましたが、 や70周年を契機とした取組み 設立の周年以降のこの る働きかけをおこない、 般的専門知識を地域社会に広 本誌では、 社会福祉を取り巻く社会情 配付しました。 今後掲載していく予定 市社協の70年の 社協事業も大き 70年積み重 など数多 います。 福祉の ット 10 途

社理論、コミュニティづくりの調査を実施しました。地域福成に活動の重点をおき、地域成に活動の重点をおき、地域成に活動の重点をおき、地域成に活動の重点をおき、地域表態を把握するために各地域

令和3年の今年、設立70周年 に1951年)5月に設立、 で1951年)5月に設立、 を目的とし、昭和26年 を目的とし、昭和26年 で2と組織的活動を促進し、 で2を目的とし、昭和26年 で3を目的とし、昭和26年

市社協

設立70周年を迎えま市社協は



70周年記念誌も今秋に発行予定

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上町守心

www.ms-ins.com